

くらラボ通信 Vol.2

令和8年5月27日 管理者:石塚章

暖かい日が増えてきましたが、いかがお過ごしでしょうか。

今年から年に数回、“子どもの気持ちラボ”として「困った行動への対応」や「気持ちが爆発したときのサポート」などをお伝えする通信をお配りしております。お時間のある時にでもご一読ください。

さて、今回は「コミュニケーションスキルや社会性を高めていく方法」についてお伝えしようと思います。日々の関わりの中で自然に関わり方や社会性が育っていくこともありますが、丁寧な関わりや練習がないと身につけにくいことも多くあります。そういったときには社会的スキル訓練(SST)が行われることがあります。

社会的スキル訓練(SST)の一般的な取り組み方としては、「教える:適切なスキルや対応方法を教える」、「見せる:どう対応したらいいかのモデルを示す」、「練習する:ロールプレイ」、「振り返り:良かった点・改善点の確認」、「実践:日常生活で取り組む」という流れで行われています。

実際にこの形で練習することもあります。SSTの取り組みを意識した遊びや普段の活動でスキルを身につけていくことも大切になります。支援者が関わり方を意識して関わることで、日常の中でもスキルが身につけやすくなります。

例えば・・・

【買い物の場面】

欲しい物の場所を知りたい時、店員さんへの質問の仕方を伝え、実際に質問をしてみます。「いい質問の仕方だったよ」と声をかけることで、行動がより身に付きやすくなります。

【お友達との関わり】

意図せずお友達を傷つけてしまった際に、「悪気はなかったと思うけど○○さん悲しかったみたいだよ」とまず起きた出来事を伝えます。その上で一緒に謝り方を考えて、実際に謝り、「ちゃんと謝ることできたのはえらいと思う」とよい行動をしっかりと認め、適切な行動が増えるようにサポートをしていきます。

こういった日常での取り組みの積み重ねが社会性の向上に繋がっていきます。

心配なことや気になることがある際にはお気軽にご相談ください。

